

進行役用シート

小学校編
テーマ5

子どもがスマホを持ちたいと 言ってるんだけど

ねらい	子どもがスマホを持つことについて、家庭でのルール作り等、その準備のために必要なことを考える。
-----	--

流れ・時間	主な活動	留意点
導入 (10分)	○進行役の自己紹介 ○アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	○温かい雰囲気をつくるよう意識する。 ○お互いの考えを聴き合い、考え合う場とする。 ○自己紹介の長さは、全体の時間をふまえて自由に設定する。 ○進行役個人の見解に基づくアドバイスは避ける
展開 (10分)	ワーク1 個人 日頃感じていることをワークシートに記入する。 グループ 記入したことを元に話し合う。	○子どものスマホ等の利用の仕方について、感じていることや疑問点、不安に思うこと等、自由に記入するよう伝える。 ○どのような意見であっても、否定することなく受け入れる雰囲気づくりに配慮する。
(10分)	ワーク2 個人 子どもにスマホ等を適切に利用させるためには、どのようなことが必要かワークシートに記入する。 グループ 記入したことを元に話し合う。	○ワーク1での話し合いの内容を参考に、考えたことや実際に実行していること等について自由に記入するよう伝える。 ○スマホ以外にも、インターネットを利用できる機器（携帯ゲーム機等）があることから、スマホを持っていない場合については、それらも含めて良いこととする。また、親のスマホを使用する場合も含む。 ○意見交換することで、願う子ども像は多様であることから、共通する部分はないか考える。
(10分)	ワーク3 個人 子どもにスマホ等を持たせるにあたって、家庭内でどのようなルールが必要か、また、ルールを守らせるためには、どのような工夫が必要かと思ったことをワークシートに記入する。 グループ ・記入したことも元に話し合う。 ・グループで話し合ったことを代表が発表する。	○あまり細かく考えるのではなく、「できそうなことを考える」という視点で記入するよう伝える。 ○自分が日頃心がけていることや家庭でのルール等があれば、自由に記入するよう投げかける。 ○意見交換することで、さらに各自が考えを広げたり、新たな気づきを持ったりできるような場にする。
まとめ (10分)	ふりかえり 個人 → 全体 感想を記入し発表する。	○ワークの感想や、家庭教育として取り組もうと考えていることを記入するよう働きかける。